

### お手軽あそび③ 布あそび

「散歩」「紙あそび」に引き続き、今回もお家にあるものを使った「布あそび」をご紹介します。

紙同様に、毛布やタオル、フリース、ナイロン地など素材の違いの他、ふわふわ、つるつる、ごわごわなどの肌触りや色味、厚みの違い、触ったときの温度の違いなど様々な布がありますね。

毛布などで子どもの体を包むときに、ぎゅっとタイトに全身に圧がかかると、心地よさそうな顔をする子もいます。

子どもと一緒に遊ぶ人に布をかぶせて顔を隠し、「いないいないばあ」をしたり、布の両端を持って綱引きのように引っ張りっこしたり、布の端を持ってパラシュートのように膨らませたりもできます。布を手繰る、引っ張る、揺らすなど布を使って遊びながら手の動きを引き出すことができます。

バスタオルや毛布など大きな布に子どもを乗せ、両端を大人が持って揺らし、ブランコのようにもできます。揺らした後、ソファやベッドなどに着地したり、「〇〇まで飛んでいけー！」と揺らす人と別の人が子どもを受け止めたりしても良いですね。揺らし方によって心地よかったり、大きく激しい揺れが刺激的で楽しかったりします。中には、揺れや体が浮く感覚を怖がったり、不安を感じたりする子もいます。その場合は、揺れを控えめにしたり、あえて宙に浮かせず床についた状態で揺らしたり、大人が加減することで徐々に楽しめるようになると思います。

また、布の上に子どもを乗せ、大人がソリ滑りのように引っ張ってあげることも楽しいですよ。

速度を調節してスピード感を楽しんだり、落ちないようにバランスを取って遊んだりします。進む感覚が楽しくて、何度も「もう1回！」と求める子もいました。

お家にあるもので、子どもとの遊びのレパートリーが増えるといいなと思います。



(つばさ保育士 奥田)